

昨年予測の成績表

毎年、我々は来年のデータセンターに影響を与えるストレージ技術の予測を立てるだけでなく、昨年の自分達の予測を採点する、という難行を自らに課している。

- B** **全半導体ストレージアレイ:** 我々は、「一群の新興ベンダーが半導体ストレージを低価格で販売した事により、全SSDアレイが現実のものとなった。」と言ったが、一群のユーザーがまだ出て来ていない。しかし、関心は底堅く、いくつか新機能の実装もあり、好材料が多い。
- B-** **クラウドを使った災害復旧DR:** 我々は昨年、クラウドベースのDRを「災害に対する理想的な選択肢」と呼び、今でもそれを信じているが、ストレージクラウドのジッター問題によって、いくつかの会社はいまだにこの技術の採用をためらっている。
- C+** **スナップショットを利用したバックアップ:** バックアップの運用でのスナップショットの組み込みは増えたが、期待したほどではなかった。バックアップの運用が変わるのは、非常にゆーっ・くりしたペースだということを忘れていたと思う。
- A** **サーバーベースのフラッシュ・キャッシュ:** 半導体ストレージは、今絶好調!である。その中でも最も好調なのが、大きなパフォーマンス・ゲインを上げるサーバーのPCI Expressスロットだろう。編集部がガチガチの「A」。
- B-** **仮想化環境用ストレージシステム:** これを挙げたのは、ちょっとだけ時機尚早だったかも知れない。これらのシステムは確実に市場に入ってきているが、既存のストレージベンダーは、ハイパーバイザとのより緊密な連携で自社製品をがっちり固めている。
- A** **クラウドベースのファイル共有と同期サービス:** 近頃、同期と共有以上に大きな話題があるだろうか? ない。あるとすれば、会社の全データの保護という悪夢くらいか。それはさておき、我々はこの予測も的中した。